

編集後記

▼お待たせしました「現代宗教研究」第五十一号をお届けします。

▼第四十九回中央教化研究会議では、これまで様々な社会事象に目を向けて、日蓮宗教師として何が出来たのかを討議の主題として来ましたが、今回は原点に立ち帰り、『妙法蓮華経』をその主題としました。日々の勤行や、法務に於いてお唱えする法華経の魅力を改めて確認し、檀信徒や未信徒の方々へお伝え頂く一助をなりましたら幸いです。是非ご一読下さい。

▼ミニ講演は、各方面にて注目されている、一般社団法人お寺の未来代表理事井出悦郎氏から「これからのお寺づくりを考える」と題した、当研究所メンバーへご講演頂いた内容を収録したものです。

▼研究ノートは、各師の研究成果を収録していますが、平成二十八年は真珠湾攻撃七十五周年の年に当たり、その記念行事に日蓮宗ハワイ日蓮宗別院が大きく関わっていました。その経緯を同院の主任である平井智親師に依頼し、寄稿して頂いたものです。

▼研究・調査プロジェクト報告は、海外宗教研究・社会と宗教・社会と寺院の各チームよりの報告を収録しました。また、数年来行ってまいりました、墓地約款についての特別調査チームよりの報告も掲載させて頂いております。当該報告作成にあたりましては、日蓮宗顧問弁護士である長谷川正浩師・本間久雄師にご協力頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。